

障がい者虐待防止に関する意見交換

障がいと障害の表記について

吹田市では、「障害」という言葉が、単語あるいは、熟語として用いられ、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とします。

ただし、以下の場合は、漢字表記とします。

- 法令、条例、規則、訓令、要綱等の例規文書の名称関係団体・施設名などの固有名詞
- 医学用語・学術用語等の専門用語として漢字使用が適当な場合
- その他漢字使用が適切と認められる場合

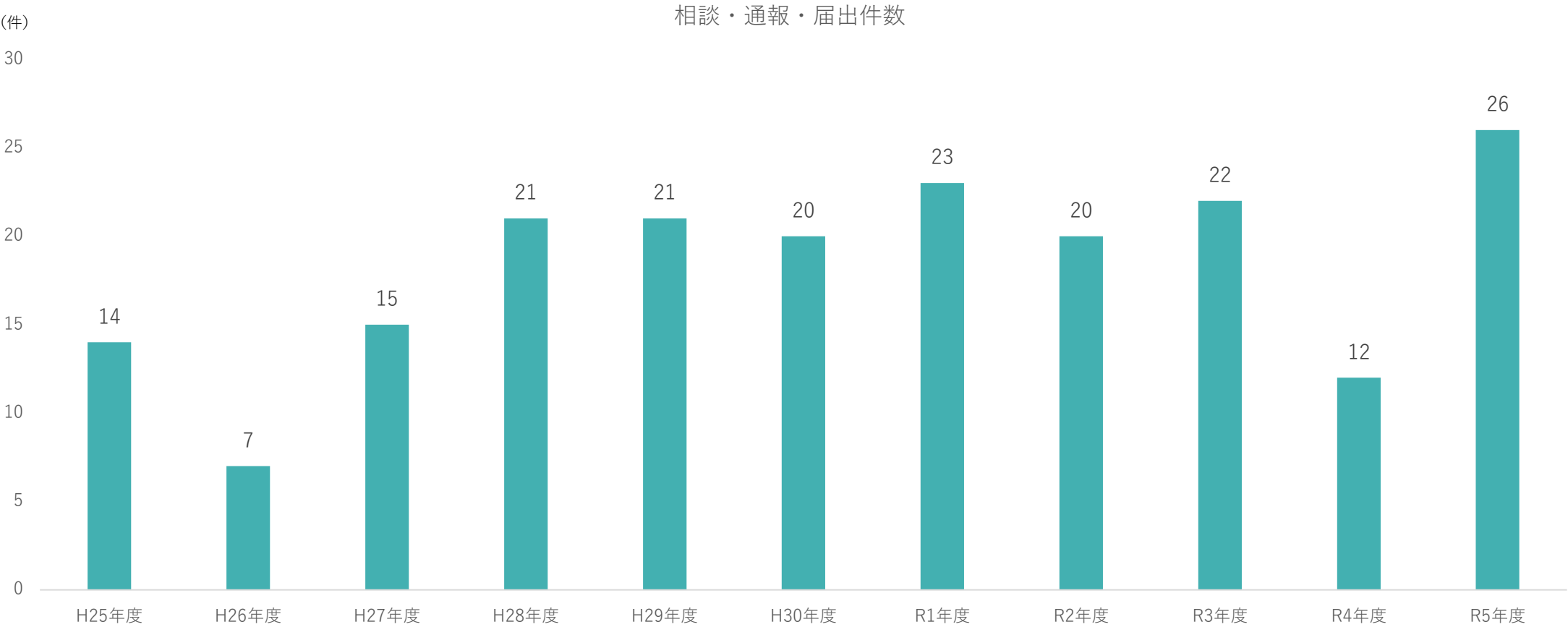
障害者虐待防止法における類型

1. 養護者による障がい者虐待
2. 障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待
3. 使用者による障がい者虐待



今回は、「2. 障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待」
について、報告・協議を行うものとします

相談・通報・届出件数 (R6.3.7時点)



相談・通報・届出者 (R6.3.7時点)

通報者	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	総計	単位：人 %
①本人による届け出	1	1	4	0	2	8	7.8%
②家族・親族	1	1	2	0	3	7	6.8%
③近隣住民・知人	0	2	1	1	0	4	3.9%
④民生委員	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑤医療機関関係者	0	0	0	0	1	1	1.0%
⑥教職員	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑦相談支援専門員	2	2	1	0	5	10	9.7%
⑧当該施設・事業所設置者・管理者	4	1	1	2	9	17	16.5%
⑨当該施設・事業所サービス管理責任者	0	1	1	0	0	2	1.9%
⑩当該施設・事業所サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑪当該施設・事業所児童発達支援管理責任者	1	0	0	0	0	1	1.0%
⑫当該施設・事業所職員	2	2	5	0	2	11	10.7%
⑬当該施設・事業所元職員	2	1	2	1	0	6	5.8%
⑭当該施設・事業所利用者	0	0	1	0	0	1	1.0%
⑮当該施設・事業所で受け入れている実習生	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑯他の施設・事業所の職員	3	3	0	0	3	9	8.7%
⑰当該市町村行政職員	2	2	1	0	1	6	5.8%
⑱警察（警察署把握件数と一致させること）	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑲運営適正化委員会（社会福祉法第83条）	0	0	0	0	0	0	0.0%
⑳介護保険法に基づく居宅サービス事業等従事者	0	0	0	0	0	0	0.0%
㉑成年後見人等	0	0	0	2	0	2	1.9%
㉒障がい者相談支援センター職員	1	1	1	2	0	5	4.9%
㉓地域包括支援センター職員	0	0	0	0	0	0	0.0%
㉔その他	4	3	2	4	0	13	12.6%
総計	23	20	22	12	26	103	100.0%

虐待の事実が認められた事例件数 (R6.3.7時点)

単位:件

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	総計
通報件数	23	20	22	12	26	103
虐待の事実あり	11	4	7	2	6	30
%	47.8%	20.0%	31.8%	16.7%	23.1%	29.1%

調査が進めば
増加する可能性
あり

当該施設・事業所の種別 (R6.3.7時点)

単位:件

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	総計	%	R4年度大阪府
総計	11	4	7	2	6	30	100.0%	—
放課後等デイサービス	6	0	2	0	1	9	30.0%	13.9%
生活介護	1	0	1	0	2	4	13.3%	20.8%
共同生活援助	1	1	1	0	1	4	13.3%	27.8%
障害者支援施設	0	0	1	0	2	3	10.0%	6.9%
居宅介護	0	1	1	0	0	2	6.7%	4.2%
就労継続支援B型	0	1	1	0	0	2	6.7%	11.1%
日中一時支援	1	0	0	1	0	2	6.7%	—
療養介護	1	0	0	0	0	1	3.3%	2.8%
就労移行支援	1	0	0	0	0	1	3.3%	0%
就労継続支援A型	0	1	0	0	0	1	3.3%	0%
移動支援	0	0	0	1	0	1	3.3%	1.4%
児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0%	2.8%
一般相談支援事業及び特定相談支援	0	0	0	0	0	0	0%	2.8%
短期入所	0	0	0	0	0	0	0%	2.8%
行動援護	0	0	0	0	0	0	0%	1.4%
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0%	1.4%

虐待の内容 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	総計①	総計②	%	R4年度大阪府
①身体 軽度2	2	1	2	2	3	9	15	30.6%	59.7%
②身体 軽度1	0	0	2	0	0	2			
③身体 中度	1	0	0	0	1	2			
④身体 重度	0	0	1	0	1	2			
⑤ネグレクト 軽度2	1	0	0	0	11	1	4	8.2%	5.6%
⑥ネグレクト 軽度1	0	1	2	0	1	2			
⑦ネグレクト 中度	1	1	0	0	0	1			
⑧ネグレクト 重度	0	0	0	0	0	0			
⑨心理 軽度2	3	0	1	3	6	9	23	46.9%	33.3%
⑩心理 軽度1	1	3	2	0	11	12			
⑪心理 中度	0	1	1	0	0	2			
⑫心理 重度	0	0	0	0	0	0			
⑬性的 軽度1	0	0	0	0	4	3	5	10.2%	18.1%
⑭性的 中度	0	0	1	0	1	1			
⑮性的 重度	1	0	0	0	0	1			
⑯経済的 軽度1	0	0	0	0	0	0	2	4.1%	4.2%
⑰経済的 中度	0	0	0	0	0	0			
⑱経済的 重度	1	0	1	0	0	2			
総計	11	7	13	5	39	49	49	100%	100%

被虐待者の性別 (R6.3.7時点)

単位:人

年度	R1年度		R2年度		R3年度			R4年度		R5年度		総計		
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	その他	男性	女性	男性	女性	男性	女性	その他
人数	10	1	3	1	2	4	1	4	1	18	4	37	11	1
%	90.9%	9.1%	75.0%	25.0%	28.6%	57.1%	14.3%	80.0%	20.0%	81.8%	18.2%	75.5%	22.4%	2.0%

被虐待者の年齢 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	総計①	総計②	%	R4年度大阪府
①就学前	0	0	0	0	0	0	9	18.4%	30.6%
②小学生	4	0	1	0	1	6			
③中学生	1	0	0	1	0	2			
④15-17歳 (中学生を除く)	1	0	0	0	0	1			
⑤18・19歳	0	0	0	0	0	0			
⑥20-24歳	3	0	0	1	0	4	9	18.4%	21.2%
⑦25-29歳	0	0	0	3	2	5			
⑧30-34歳	0	0	1	0	1	2	8	16.3%	9.4%
⑨35-39歳	0	0	0	0	6	6			
⑩40-44歳	1	0	2	0	1	4	9	18.4%	15.3%
⑪45-49歳	1	0	1	0	3	5			
⑫50-54歳	0	0	0	0	3	3	5	10.2%	12.9%
⑬55-59歳	0	0	0	0	2	2			
⑭60-64歳	0	0	0	0	2	2	2	4.1%	3.5%
⑮65歳以上	0	0	0	0	1	1	1	2%	7.1%
不明	0	4	2	0	0	6	6	12.2%	0%
総計	11	4	7	5	22	49	49	100%	100%

被虐待者の障がい種別：複数回答（R6.3.7時点）

単位：人

	R1	R2	R3	R4	R5	総計	%	R4年度大阪府
①身体障害	3	1	1	0	6	11	19.6%	24.7%
②知的障害	7	2	6	5	21	41	73.2%	77.6%
③精神障害(発達障害を除く)	3	1	0	0	0	4	7.1%	18.8%
④発達障がい	0	0	0	0	0	0	0%	8.2%
⑤難病	0	0	0	0	0	0	0%	0%
⑥その他	0	0	0	0	0	0	0%	1.2%
総計	13	4	7	5	27	56	100%	—

被虐待者の障がい支援区分 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1	R2	R3	R4	R5	総計	%	R4年度大阪府
区分1	0	0	0	0	0	0	0%	0
区分2	0	1	0	0	0	1	2.0%	9.4%
区分3	1	0	1	0	0	2	4.1%	7.1%
区分4	1	2	2	0	2	7	14.3%	10.6%
区分5	0	0	0	0	7	7	14.3%	18.8%
区分6	2	1	1	4	12	20	40.8%	28.2%
なし	6	0	2	1	1	10	20.4%	25.9%
不明	1	0	1	0	0	2	4.1%	0%
総計	11	4	7	5	22	49	100%	100%

被虐待者の行動障がいの有無 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1	R2	R3	R4	R5	総計	%	R4年度 大阪府
①強い行動障がいがある (障がい支援区分3・行動関連項目10点以上)	4	0	2	4	17	28	57.1%	43.5%
②認定調査を受けてはいないが①と同程度の行動障がい	1	0	0	0	0	1	2.0%	1.2%
③行動障がいがある (①②に該当しない程度)	4	3	2	1	4	14	28.6%	14.1%
④行動障がいがない	1	1	2	0	1	5	10.2%	28.2%
不明	1	0	1	0	0	2	4.1%	13.9%
総計	11	4	7	5	22	49	100%	—

虐待者の性別 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1-5年度	%	R4年度大阪府
男性	49	70.0%	69.6%
女性	10	14.3%	30.4%
不明	11	15.7%	0%
総計	70	100%	100%

虐待者の年齢 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1-5年度	%	R4大阪府%
20歳代	10	14.3%	8.9%
30歳代	17	24.3%	12.7%
40歳代	11	15.7%	17.7%
50歳代	5	7.1%	27.8%
60歳代以上	14	20.0%	22.8%
不明	13	18.6%	10.1%
合計	70	100%	—

虐待者の職種 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1-5年度	%	R4年度大阪府
総計	70	100%	—
生活支援員	28	40%	38%
指導員	10	14.3%	12.7%
その他従業者	9	12.9%	3.8%
管理者	5	7.1%	6.3%
設置者・責任者	4	5.7%	8.9%
世話人	4	5.7%	12.7%
サービス管理責任者	2	2.9%	3.8%
職業指導員	2	2.9%	2.3%
看護職員	1	1.4%	2.5%
理学療法士	1	1.4%	1.3%
就労支援員	1	1.4%	0%
児童発達支援管理責任者	1	1.4%	1.3%
調理員	1	1.4%	0%
不明	1	1.4%	0%
相談支援専門員	0	0%	1.3%
居宅介護従業者	0	0%	2.5%
重度訪問介護従業者	0	0%	1.3%
行動援護従業者	0	0%	1.3%

虐待者の雇用形態 (R6.3.7時点)

単位:人

	R1-5年度	%	R4年度大阪府
①正規雇用	42	60%	55.7%
②非正規雇用	25	35.7%	41.8%
③不明	3	4.3%	2.5%
総計	70	100%	—

虐待者の発生要因：複数回答 (R6.3.7時点)

単位:件

	R1-5年度	%	R4年度大阪府
教育・知識・介護技術等に関する問題	18	60.0%	80.6%
職員のストレスや感情のコントロールの問題	16	53.3%	55.6%
倫理観や理念の欠如	21	70.0%	41.7%
虐待を助長する組織風土や職員間の関係性の悪さ	10	33.3%	31.9%
人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	10	33.3%	40.3%

*%は虐待判断事例件数30件に対するもの。

近年の事実確認調査から感じること

1. 強度行動障がい*の支援の難しさ

- 障がい特性の理解と求められる技術の高さ…職員の負担感につながることもある
- 家族の思い「ようやく受け入れてもらえたから」「土日受け入れはここしかないから」

*自傷、他害、こだわり、器物破壊行為、異食、他動、睡眠の乱れ等、本人や周囲の人の生活に影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で発生し、特別に配慮された支援が必要になっている状態を示す。

2. 居宅介護(ヘルパー)支援の閉鎖性

- 利用者との関係性…親密化しやすく、気持ちのコントロールを受けやすくなる
- 自宅など、支援現場は1対1が多く、他者の目が通りにくい